

B.LEAGUE (Bリーグ) 2023-24シーズン アルバルク東京×サーモス 試合会場でのプラスチック(ペットボトル)ごみ削減を目指した 『マイボトル推進プロジェクト』活動実績のお知らせ

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、Bリーグ所属のプロバスケットボールクラブ「アルバルク東京」とSDGsパートナー契約を締結し、『マイボトル推進プロジェクト』を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。2023-24シーズンのホームゲームにおいて、試合会場でのプラスチック(ペットボトル)ごみ削減に向けた取り組みを実施しております。2024年4月28日にシーズン最後の『マイボトル推進プロジェクト』が実施され、このたび活動実績を公開しました。

アルバルク東京 × サーモス『マイボトル推進プロジェクト』とは

試合観戦時にマイボトルの利用を呼びかけ、ホーム試合会場でのペットボトルごみ削減を目指すプロジェクトです。『マイボトル推進プロジェクト』では、下記4つの施策を実施しました。

- マイボトル持参者にオリジナルグッズが当たるキャンペーンを全てのホーム試合で実施
- 新企画！！“日本野鳥の会東京”協力「マイボトル カウント チャレンジ」マイボトル持参者の人数に応じて、サーモス製品が当たる抽選会を開催
- 国立代々木競技場 第一体育館限定で、嬉しいマイボトル割引を実施
- ホーム試合会場内のサーモス特設ブースで「使用済みステンレス製魔法びん」を回収



<活動実績>

■ 2023年10月～2024年4月 ホームゲーム30試合でのペットボトル概算廃棄量

1試合あたりのペットボトル平均廃棄量：約23kg

1試合1人あたりのペットボトル平均廃棄量：約4g

	1試合あたりの ペットボトル平均廃棄量	1試合1人あたりの ペットボトル平均廃棄量
2023年10月～12月（ホームゲーム12試合）	約23kg	約6g
2024年1月～3月（ホームゲーム11試合）	約22kg	約3g
2024年4月（ホームゲーム7試合）	約24kg	約4g

※国立代々木競技場 第一・第二体育館の試合では、90Lのゴミ袋1袋当たり100本（1本あたり20gとした場合）としてペットボトル用ゴミ袋の使用枚数から算出。アリーナ立川立飛の試合では、ペットボトルゴミを計量し算出しています。

■ “日本野鳥の会東京”協力「マイボトル カウント チャレンジ」

マイボトル持参者の人数に応じて、サーモス製品が当たる抽選会を全3回実施。延べ1,285名にマイボトルをご持参いただきました。

- 2023年10月15日実施：マイボトル持参者236名
- 2024年1月6日実施：マイボトル持参者360名
- 2024年4月27日実施：マイボトル持参者689名

※計測協力：日本野鳥の会東京



■ 「使用済みステンレス製魔法びん」の回収

再資源化を目指し、ご不要の「使用済みステンレス製魔法びん」を回収しました。回収した製品は、粉碎・選別などの処理を行い、再生材としてさまざまな製品の素材に再利用されます。

回収総重量：5.67kg（金属・樹脂合計）

※ホームゲーム全 30 試合で回収ボックスを設置



©ALVARK TOKYO

また、使い捨て容器削減のため『サーモス 真空断熱ジョッキ』で飲み放題を行う企画席「THERMOS シート」を設置しました。全 9 試合で販売し、727 杯分の使い捨てドリンク容器の削減につながりました。

2023-2024 シーズンの『マイボトル推進プロジェクト』にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。来シーズンも、アルバルク東京とともに最適な温度でスポーツ観戦を楽しめるマイボトルを通じて、プラスチックごみ低減を目指していきます。